

あいち病害虫情報 最新情報

令和 7 年 9 月 1 7 日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

向こう 1 か月の気温は高い見込み

名古屋地方気象台 9 月 11 日発表の 1 か月予報によると、向こう 1 か月の気温は高く、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。また、降水量及び日照時間はほぼ平年並の見込みです。

水稻の病害虫

トビイロウンカの発生は、8 月下旬の巡回調査において確認されませんでした。予察灯においては長久手市で 9 月 9 日に誘殺（1 頭）が確認されました。トビイロウンカがほ場に定着している場合、今後、坪枯れが発生する可能性がありますので、ほ場の状況をよく確認しましょう。坪枯れが近隣のほ場を含めて発生した場合は、収穫までの日数を考慮の上、防除あるいは早めの収穫を行いましょう。

弥富市に設置している予察灯において、ニカメイガの誘殺が多い状況が続いています。幼虫による被害が出る可能性があるため、ほ場での発生状況に注意し、発生が目立つ場合は収穫前日数を考慮して防除を実施しましょう。また、本種は収穫後の刈り株や畦畔雑草で越冬します。収穫後は、刈り株の早期すき込みや畦畔の除草を実施しましょう。

ダイズのチョウ目害虫の発生に注意

ダイズほ場に設置したフェロモントラップでは、ハスモンヨトウ及びオオタバコガの誘殺数はやや多い～平年並、シロイチモジヨトウの誘殺数は概ね平年並の状況です。

向こう 1 か月の気温は高いと見込まれており、今後、これらのチョウ目害虫の増殖に好適な条件が続くと予想されますので、今後の発生状況に注意しましょう。また、本日発表の「オオタバコガ情報第 4 号」を参考にしてください。

ダイズの吸実性カメムシ類

県内各地に設置した予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数はやや多い状況です。向こう 1 か月の気温は高いと予想されており、本種の活動に好適な条件となる可能性があります。また、水稻収穫済みの水田から近隣のダイズほ場にミナミアオカメムシ等が移動する可能性があるため、子実肥大初期（開花 30～40 日後）に防除を行いましょう。詳細は 9 月 2 日発表の「吸実性カメムシ類情報第 1 号（ダイズ）」を参考にしてください。

果樹カメムシ類の発生に注意

果樹カメムシ類の 9 月上旬の予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は平年並ですが、一部ほ場（カキ園）への飛来が確認されています。向こう 1 か月の気温は高いと予想され、今後も果樹カメムシ類が活発に活動し、果樹園への飛来が増加するおそれがあります。ほ場での発生状況に注意し、果樹カメムシ類を確認したら速やかに防除しましょう。

果樹の病害

ブドウべと病については、早期落葉および次作の越冬伝染源量を減らすため、収穫後に I C ボルドー 4 8 Q など秋期防除を実施しましょう。また、罹病落葉が次作の第一次伝

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室
TEL 0561-41-9513 FAX 0561-63-7820